

# 「ケアニン〜あなたでよかった〜」特別上映会

〔日時〕令和1年7月5日(金) 〔会場〕美作大学30教室 〔入場料〕無料



**ケアニン** = 介護、看護、医療、リハビリなど、人の「ケア」に関わり、自らの仕事に誇りと愛情、情熱を持って働いている全ての人

「こんな仕事やってられるか、どこにやりがいがあるんだ、どこが楽しんだ〜ってか？」

「思っでいませ〜んけど」

「えっ思わなの？スゲエな。俺なんか新人の頃は毎日思っでいたけどな、少しは思っでらう？」

「…まあ、少しは」

「人間だから当然だよ、こっちも人間なら、向こうも人間。感情もあればプライドもあるんだ」

**介護職員が30万人不足！**  
 高齢化がピークを迎える2025年に(厚生労働省へ)

「3人(きき、活い、楽い)のイメージが先行する介護の仕事は、肉体的にも精神的にも難しい仕事です。しかしこれほど人と本来接する機会、感動する仕事は少ないと長く介護に関わる人たちは誇りを携ります。映画「ケアニン〜あなたでよかった〜」は、神奈川県横浜市に暮らす「おたがいさん(株式会社おたがいけあ)」を拠点とする30ヶ所もの介護福祉施設や専門学校、障害福祉に専攻の志士もいたが、シニアが一つずつ積み上げてきた、この仕事に誇りや愛をこめて働くことの意味や、人々、地域との繋がりが書かれています。この中で描かれているセラピのワークが全て実際の現場からとった実話の基盤です。そうした日々の介護現場で働く人たちの姿を切り取り、大切に自然に、人生に敬意を払える姿を感動のストーリーが出来上がりました。それが本作「ケアニン〜あなたでよかった〜」です。

「人のために仕事をしたい」「いいじゃん、ばあちゃんが好きだから」そんな理由で介護の仕事をする若者を、私たちは「介護ってすてきだぞ」って迎えようが、あんなに誇りをもっと働ける現場をつくらう！」

株式会社おたがいけあ  
 代表取締役 加藤忠明

「…経験は積むんだよ。それが身になる。現場に慣れて人間と向き合えるようになったら、主役一人前のケアニンだ」

「けあにん〜?」

「ケアする人間。介護福祉士って誇りと堅くるしいじゃん」

認知症で人生終わりになんて、僕がさせないー。

大高志(現役・21)は新人介護福祉士。最終学歴が、これいってやめたいことがなかった志は、産後した理由で介護の専門学校へ入。卒業後、妻が働くことになったのは、専攻にある介護福祉施設。資格取れたとすぐにシニアケアに専攻する。勤めながら主役のイメージで世帯主をすることになったのは、産後の早期退社計画、旅行計画しながら、先輩スタッフたちの協力もあり、少しづつ親子との関係性を築いていく。「なんとなく」で始めた介護の仕事は、いつしか実感が湧くようになり、いざいざだっ...



〈タイムテーブル〉(開場14:10~)

14:30~16:15 映画上映「ケアニン〜あなたでよかった〜」

16:30~17:30 次世代介護福祉士の本音トークライブ

主催: 美作大学短期大学部専攻科

**参加申込不要**